新しい地方経済・生活環境創生交付金（旧デジ田交付金）事業実施状況及び事業の評価

事業名	「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業
交付金名	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）
事業年度	令和3年度～令和7年度 （5年間）

事業概要及び事業費

「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション部会と連携し、観光プロモーション事業を実施する。

	事業概要	事業費
R3	・観光PR事業（国内旅行エージェント商談会、ラッピングバス、デジタルサイネージ、デジタルマーケティングなど） ・竹田城跡ライトアップ事業 ・観光大使事業（※情報交換会は中止） ・着地型観光の推進（スタンプラリー事業） ・フォトコンテスト、Instagramフォトコンテスト ・観光協会支援、連携事業 ・立雲峡展望台魅力創出事業（展望台整備事業、モニュメント設置） ・周遊観光推進事業（サイクリング観光基本構想策定等） ・酒蔵プロモーション	40,018千円
R4	・観光PR事業（国内旅行エージェント商談会、ラッピングバスデザイン更新、デジタルサイネージ、デジタルマーケティングなど） ・竹田城跡ライトアップ事業 ・観光大使事業（※情報交換会は中止） ・着地型観光の推進（スタンプラリー事業） ・フォトコンテスト ・観光協会支援、連携事業 ・兵庫プレデスティネーションキャンペーン事業 ・周遊観光推進事業（サイクリング拠点整備・サイクリングイベント実施） ・酒蔵プロモーション	46,211千円
R5	・観光PR事業（国内外旅行エージェント商談会、JR車両広告、ラッピングバス、デジタルサイネージ、デジタルマーケティングなど） ・日本遺産夜の魅力創出事業 ・観光大使事業 ・着地型観光の推進（スタンプラリー事業） ・フォトコンテスト ・観光協会支援、連携事業 ・兵庫デスティネーションキャンペーン事業 ・周遊観光推進事業（サイクリング拠点備品・サイクリングイベント実施） ・酒蔵プロモーション	39,650千円
R6	・観光PR事業（国内外旅行エージェント商談会、JR車両広告、ラッピングバス、デジタルサイネージ、デジタルマーケティングなど） ・市内滞在魅力及び周遊促進事業（フォトコンテスト、コンテンツ開発、ユニバーサルツーリズム推進） ・観光大使事業 ・観光協会支援、連携事業 ・兵庫アフターデスティネーションキャンペーン事業 ・周遊観光推進事業（サイクリングイベント実施） ・酒蔵プロモーション	34,132千円
R7		
計		125,879千円

KPI

評価指標（KPI）	開始前 R2	目標値 R3	目標値 R4	目標値 R5	目標値 R6	目標値 R7	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	実績値 R7
① 観光入込数	145.1 万人/年	168.1 万人/年	191.2 万人/年	214.2 万人/年	222.2 万人/年	230.2 万人/年	149.2 万人/年	188.1 万人/年	189.7 万人/年	189.3 万人/年	
② ポータルプラットフォームへの投稿数	0	45	45	45	45	45	154	370	315	420	
③ メディア掲載数 ＊「恋人の聖地」関連及び「恋人の聖地」広域市町村連携で実施し取り上げられたメディア掲載数	0	18	18	18	18	18	4	6	3	3	

事業評価

R3	コロナ禍において、観光客誘客に向けたプロモーション活動は厳しい状況ではあったが、デジタルマーケティングなどを活用し、効果的なプロモーション活動を実施した。さらにコロナ感染症対策を徹底しながら、竹田城跡のライトアップやスタンプラリーなど、誘客イベントを実施した。令和2年度に発足した朝来市観光協会の機能強化のために支援を行い、様々な事業において連携を図った。新たな観光コンテンツとして、酒蔵を活かしたプロモーションを推進した。（酒蔵イベントは次年度に延期）
R4	昨年度同様、コロナ禍での観光誘客に向けた取組として、デジタルマーケティングなどを活用したプロモーションを実施した。誘客イベントとして、これまで実施してきたスタンプラリーや竹田城跡のライトアップイベントを継続し、加えて酒蔵イベントやサイクリングイベントなど新たな層の誘客に取り組んだ。朝来市観光協会の機能強化のための支援も引き続き行った。 その結果、観光入込客数の回復が見られたがコロナ前の水準にはなっていない。
R5	アフターコロナでの観光誘客に向けて、対面での商談やPRの機会が増え、積極的に参加をした。またSNSを活用した情報発信やデジタルマーケティングなどを活用したプロモーションを実施した。一般社団法人となった朝来市観光協会との連携を深め、国内旅行客のみならず2025年大阪・関西万博を契機としてインバウンドを誘客するための、観光コンテンツ開発や受入れ体制の整備を進めた。 結果として、観光入込客数はコロナ前の水準まで戻っていないが、前年度に比べ増加傾向にあり、引き続き観光誘客や情報発信に努める。
R6	観光誘客に向けて、商談会への参加や旅行エージェントへのPRを積極的に行った。またSNSを活用した情報発信をこまめに行い、さらにデジタルマーケティングによる効果的なプロモーションを実施した。 一般社団法人朝来市観光協会と共に、国内旅行客のみならず2025年大阪・関西万博を契機としてインバウンドを誘客するための、観光コンテンツ開発や受入れ体制の整備を進めた。 観光入込客数は横ばいとなっているため、観光誘客を進めつつ、観光消費拡大に繋がるコンテンツ開発に努める。
R7	

担当課	観光交流課

新しい地方経済・生活環境創生交付金（旧デジ田交付金）事業実施状況及び事業の評価

事業名	福知山市・丹波市・朝来市 3市圏域の競争力強化による「稼ぐ地域」創造事業
交付金名	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）
事業年度	令和4年度～令和6年度 （3年間）

事業概要及び事業費

福知山公立大学と京都工芸繊維大学を知の拠点とし、人材確保及び育成を行うとともに、産学官連携等による新産業の展開や事業拡大に伴う雇用者所得の向上を図り、人材還流の組を構築する。

	事業概要	事業費
R4	・地域産業創出支援事業（あさご元気産業創生センター運営など） ・雇用促進事業（しごとゼミ開催、ジョブサポあさご運営、女性等活躍促進等） ・人財育成プロジェクト事業（高校生と地域をつなぐ学び、キャリアトークカフェ開催、起業人財交流拠点運営、大学連携、市民の対話の場など） ・協働のまちづくり検証事業（自治基本条例の検証など） ・シティプロモーション事業（市民ライター養成など） ・特産物振興事業（農産物販路拡大など） ・産学官連携コンソーシアム事業（3市連携事業方向性の整理など）	21,772千円
R5	・地域産業創出支援事業（あさご元気産業創生センター運営など） ・雇用促進事業（しごとゼミ開催、ジョブサポあさご運営、女性等活躍促進等） ・住みたい田舎移住促進プロジェクト事業（起業人財交流館運営・大学連携） ・人財育成プロジェクト事業（高校生と地域をつなぐ学び、キャリアトークカフェ開催、起業人財交流拠点運営、大学連携、市民の対話の場など） ・シティプロモーション事業（市民ライター養成など）	11,849千円
R6	・地域産業創出支援事業（あさご元気産業創生センター運営など） ・雇用促進事業（しごとゼミ開催、ジョブサポあさご運営、女性等活躍推進、合同企業説明会等） ・住みたい田舎移住促進プロジェクト事業（起業人財交流館運営・大学連携） ・人財育成プロジェクト事業（高校生と地域をつなぐ学び、キャリアトークカフェ開催、起業人財交流拠点運営、大学連携、市民の対話の場、SNSでの情報発信など） ・美術館美術活動支援事業（風と光のページェント支援業務、アートプログラム支援業務など） ・産学官連携コンソーシアム事業（大学連携による3市課題解決、デジタル人材育成など）	12,529千円
R7		
R8		
計		33,621千円

KPI

評価指標（KPI）	開始前 R2	目標値 R4	目標値 R5	目標値 R6	目標値	目標値	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	実績値 R7	実績値 R8
① 起業支援制度を利用して起業した事業者数及び事業承継した事業者数	17件/年	18件/年	19件/年	20件/年			6件/年	5件/年	2件/年		
② 圏域内事業所への新卒就業者数	59人/年	60人/年	60人/年	60人/年			59人/年	50人/年	63人/年		
③ 圏域内主要観光施設の観光消費額	818,061千円/年	850,000千円/年	875,000千円/年	900,000千円/年			894,867千円/年	912,031千円/年	943,173千円/年		
④ 産学官連携による地域課題解決策の社会実装件数	0件/年	0件/年	0件/年	1件/年			0件/年	0件/年	0件/年		

事業評価

R4	**経済振興課** withコロナ下にあって、市内での起業意欲は高く、元気産業創生センターを中心として伴走型のサポートに努めた。また、各種補助制度を充実させることで、空き家空き店舗の活用を促進し、地域の課題解決も併せて図った。高校生の市内企業見学しごとゼミ、出産や子育てで離職した女性を対象に市内企業でのプチ勤務を促す女性活躍推進事業、新卒、既卒、UIJターン者の市内企業への就業を促進する就活サポートブックやジョブサポあさご等、全方位型の就職支援により、コロナ禍においても市内企業への就業者を確保した。 **総合政策課** 高校生と地域をつなぐ取組は、高校の授業にてキャリアトークカフェをはじめとして地域で活躍する大人との対話等の学びにより、高校生の主体性やシビックプライドを育むきかっけとなっている。また、福知山公立大学や芸術文化観光専門職大学等との大学連携により、プログラミング教室かコミュニケーション教育といった多様な人材育成の場が充実した。 **市民協働課** 自治基本条例の検証を審議会において行った。審議会として出された結果や意見に基づく本市対応方針を策定し、今後の行政運営に繋げていくためのフェーズに移行する。 **農林振興課** 特産物販路拡大事業の一環として、令和4年度は人材育成に主眼を置き、農業経営等の講座の開催、農業研修生を受け入れる親方農家の研修を行うとともに、専門講師によるブランディング、デザイン及び商品開発に係る相談会を開催した。
R5	**経済振興課** 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、市内での起業意欲は引き続き高く、元気産業創生センターを中心として伴走型のサポートに努めた。また、各種補助制度を充実させることで、空き家空き店舗の活用を促進し、地域の課題解決も併せて図った。高校生の市内企業見学しごとゼミ、出産や子育てで離職した女性を対象に市内企業でのプチ勤務を促す女性活躍推進事業、副業や企業に繋がるデジタルの知識を学ぶ講座「朝来クリエイタースクール」、新卒、既卒、UIJターン者の市内企業への就業を促進する就活サポートブックやジョブサポあさご等、全方位型の就職支援により、コロナ禍においても市内企業への就業者を確保した。 **総合政策課** 県立高校と連携し、キャリアトークカフェをはじめとして地域で活躍する人との対話や実践的な学びは定着しつつあり、和田山高校においては地元就職等への向上につながりつつある。また、芸術文化観光専門職大学との連携し、高校1年生を対象にしたコミュニケーション教育は、高校での主体的・対話的な学びの後押しとなっている。 **市民協働課** 起業人財交流館における大学連携事業を実施した。新たな入居者と地域がつながる場を創り、地域に開かれた施設として認知度を高めることができた。
R6	**経済振興課** コロナ禍を経て多様な働き方の選択肢が増加し、市内での起業ニーズが高まる一方、人口減少や物価高等の影響により依然として厳しい状況が続く中、元気産業創造センターを中心として、伴走型のサポートに努めた。また、各種補助制度を充実させることで、空き家空き店舗の活用を促進し、特に若者や移住者に対する補助を拡充することで地域の課題解決を図った。高校生の市内企業見学しごとゼミ、出産や子育てで離職した女性を対象に市内企業でのプチ勤務を促す女性活躍推進事業、副業や起業に繋がるデジタルの知識を学ぶ講座「朝来クリエイタースクール」、新卒、既卒、UIJターン者の市内企業への就業を促進する就活サポートブック発行やジョブサポあさごの運営、その他、市内企業を対象にした合同企業説明会を神戸で開催する等、全方位型の就職支援により市内企業への就業者を確保した。 **総合政策課** 県立高校と連携して実施する地域で活躍する人との対話や実践的な学び（キャリアトークカフェ等）は定着した取組になってきている。大人との対話の中で様々な価値観に触れることで、進路選択等のキャリア形成にもつながっている。また、芸術文化観光専門職大学と連携して実施するコミュニケーション教育（高校1年生対象）は、高校での主体的・対話的な学びの後押しとなっている。さらには、市民対話の場として、若者に対象を絞った対話を開催し、広く市民意見を施策に取り入れた。 **市民協働課** 福知山市・丹波市と連携して東京開催の移住フェア（JOINフェア2024）に出展した。3市の強みである「農ある暮らし」などについて、首都圏の移住希望者に向けて情報発信したことにより、首都圏での本市認知度向上をはかった。情報発信の継続的な取組によって、移住者数の増（前年比6件増　123件）につながっている。 **芸術文化課** 　1日4000個のキャンドルで彫刻公園を演出するイベント「風と光のページェント」では、企画段階から芸術文化観光専門職大学と連携し、充実した事業が実施できた。キャンドルを設置するための舞台装置の作成や、オリジナルキャンドルホルダー制作ワークショップ開催、来場者参加型のダンスパフォーマンスの実施により、来場者との交流を深めた。 　アートプログラム支援事業では美術館での鑑賞教育プログラムの充実を目的として、芸術文化観光専門職大学に企画立案からプログラムの実施まで連携しておこなった。地元小学生をモデルケースとしてプログラムを実施し、小学生にとっても、大学生にとっても充実した教育プログラムとなった。

担当課	経済振興課、総合政策課、市民協働課、農林振興課（R4）、芸術文化課（R6）